

概観

【政治・社会】

- ・ナショナリスト政党のアタッカがモスク信者と衝突，政府，国民議会はアタッカを非難。同党国民議会議員数名が同事件を契機に離党。
- ・中東情勢に関する国際会合（フォーラム）がソフィアで開催，潘基文国連事務総長等が参加。

【経 済】

- ・ナブッコ天然ガスパイプライン計画の着工について，2年延期が決定。
- ・新運輸・通信技術・通信相にモスコフスキ氏を選出。
- ・ソフィア市と西部ペルニツク市を結ぶリュールン高速が全線開通。

【我が国との関係】

- ・草の根・人間の安全保障無償資金協力（1件）

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

政治・社会

1. 内政

◆「アタッカ」がモスク信者と衝突

- ▶20日，シデロフ・アタッカ党首，同党議員，支持者等約150名が，ソフィア市内のモスク前で，礼拝の放送がうるさい等との理由で抗議運動を実施，信者との間でもみ合いとなり，負傷者が発生した。これを憂慮した多くの一般市民はモスク前に謝罪の花束やキャンドルを捧げた。
- ▶25日，3名のアタッカ所属の議会議員は党幹部が急進的すぎるとして会派を離脱した。またソフィア地方検察庁は，異宗教への憎悪の念を説諭した罪につき容疑者未確定のまま審理開始に向けた手続を開始すると述べた。
- ▶ボリスフ首相等は異民族への不寛容を許さないとの趣旨の発言を行い，「これはアタッカの閣外協力より重要だ」と述べた。（注：アタッカは野党だが，現政権に閣外協力を行っている。）また，国外からは MRF（野党中道。トルコ系）の所属する欧

州自由民主同盟が，「このような急進的かつ人種差別的態度は文明国では許されない，ブルガリアはアタッカ党を違法化すべき」，との内容の非難声明を発出した。さらに国民議会は27日，異民族・異宗教間の平和を損なう試みに対しての非難決議を採択した。

◆元秘密警察協力者の大使の一部が帰国

- ▶5月上旬の時点で総勢13名の元秘密警察協力者・内報者の大使が帰国した。大使の本国召還手続には大統領の署名が必要だが，パルヴァノフ大統領が元協力者の大使の召還・降格人事の方針に反対の意を表明し，署名を拒否しているため，外務省はこれらの大使に対して本省での協議を名目に帰国を命じた。
- ▶既に帰国しているのは UNESCO，国連，中，独，ボスニア，ギリシア，グルジア，ルーマニア，セルビア，ベラルーシ，スウェーデン，リトアニア，マケドニアのブルガリア大使。
- ▶外務省は今後も残りの大使について同様の方法

で帰国させる方針の由。

2. 外政

◆中東情勢に関する国際会議の開催と

潘基文国連事務総長のブルガリア訪問

▶5～7日、ソフィアにおいてムラデノフ外相のイニシアチブにより Sofia Platform Bridging Europe and the Middle East と題する国際会議が開催され、ブルガリア内外の政府代表、有識者等が東欧の体制移行及び中東における変化について討議した。

▶この会合には潘基文国連事務総長、及びギリシア、スウェーデン、ハンガリー並びにポルトガルの外相の他、約150名が参加、ブルガリア側からはボリスフ首相等が出席した。

▶潘基文国連事務総長は別途パルヴァノフ大統領、ボリスフ首相、ムラデノフ外相及びファンダコヴァ・ソフィア市長等と会談した。なお、国連事務総長のブルガリア訪問は、1989年の体制移行後初めて。

◆EUROPOL 長官：ブルガリア訪問 (16日)

▶ウェインライト EUROPOL 長官がブルガリア訪問。ボリスフ首相及びツヴェタノフ内相等と会談。今次訪問は、直近のブルガリア・EUROPOL 間の共同作戦、即ち、20万ユーロの偽紙幣使用及び50万ユーロ以上の偽造の疑いある通貨紙幣偽造者の逮捕に関連した訪問。

▶ウェインライト長官は記者団に対し、ツヴェタ

経 済

1. マクロ経済

◆インフレーション (4月)

▶12日、統計局は、4月のインフレ率について、対前月比0.2%増、対前年同期比4.6%増となった旨発表した。

◆2011年第1四半期、GDP

▶15日、ユーロスタットは、ブルガリアの第1四半期GDPに関し、対前年第四半期(2010

ノフ内相の EUROPOL の報告等によく注意を傾けている姿勢、組織犯罪集団に対するブルガリア警察の活動改善及び偽造紙幣業者の逮捕作戦におけるブルガリア警察の働き等を高く評価する旨述べた。一方、昨今は、ブルガリアのヴァルナ市がラテンアメリカから欧州へのコカイン密輸の入り口と化していることを指摘した。

◆NATO 事務総長：ブルガリア訪問 (30日)

▶ラスムセン NATO 事務総長が、ヴァルナ市において開催された NATO 国会議員会議 (PA) 参加のためブルガリアを訪問し、ボリスフ首相及びアンゲロフ国防相等と会談した。

▶ボリスフ首相との会談後、ラスムセン事務総長は記者団に対し、「アラブの春」、北アフリカ情勢及びブルガリア・NATO 協力等につき協議した、アフガニスタンにおけるブルガリア軍兵士約600名の活躍、及び対リビア軍事行動に対してブルガリアが後方支援のためのフリゲート艦1隻を派遣したこと等を高く評価している旨述べた。

▶ボリスフ首相は記者団に対し、ブルガリアは、ミサイル防衛システム (MD) はブルガリア全土をカバーするものでなければならないとの立場を堅持している、一方、MD システムを具体的にどこに配置するかは、NATO の技術的かつ戦略的決定に基づく旨述べた。

年第4四半期)比0.4%増、対前年同期比2.5%増である旨の暫定値を発表した。

◆2011年第1四半期、FDI・貿易

▶16日、中央銀行は、2011年第1四半期のFDIについてマイナス5,100万ユーロ(対前年同期:5,270万ユーロ)である旨暫定値を発表した。投資の多くが独(1億8,500万ユーロ)、蘭(1億2,600万ユーロ)、日本(4,970万ユーロ)へ流出し、澳(2億1320万

ユーロ), キプロス(4,050万ユーロ)から投資があった。また、同行は同第1四半期の貿易に関して、輸出は47億5,750万ユーロ(前年同期比55.6%増)、輸入は47億1,050万ユーロ(対前年同期比29.9%増)である旨発表した。

◆失業率(4月)

▶17日、雇用庁は、4月の失業率について9.29%であり、対前月比0.23%減少した旨発表した。約34万4千人が失業者として登録されている。失業率が高い地方は、スモーリヤン(17.2%)、タルゴヴィシュテ(15.89%)、モンタナ(15.56%)であり、低い地方は、ソフィア市(3.76%)、ガブロヴォ(6.07%)、ブルガス(7.14%)。

◆IMF経済成長予測

▶19日、IMFは、2011年のブルガリア経済成長率及びインフレーション率について、3.0%、4.8%との予測を発表した。ブルガリア政府はそれぞれ3.6%、3.7%と予測している。

2. 産業

◆使用済燃料の貯蔵施設開設

▶11日、ボリスフ首相はコズロデュイ原子力発電所における使用済み核燃料の貯蔵施設を開設した。同首相は演説の中で、同施設開設により露に使用済み燃料を返却することがなくなり、露から独立するという点が重要だと強調した。同施設は、ブルガリアのEU加盟に伴い稼働停止した同原発1号炉~4号炉の使用済み燃料を貯蔵するもの。同首相は将来の原発需要に合わせて貯蔵施設の容量を増大する可能性がある旨言及した。

◆新車販売台数

▶11日、自動車製造・認定代理協会は、4月における新車販売総台数について1,857台、1月から4月に新車累計販売台数について6,459台(対前年同期比10%増)である旨発表した。

1月から4月までの販売台数上位メーカーは、①フォルクス・ワーゲン(774台)、②フォード(610台)、③トヨタ(566台)、④ダチア(526台)、⑤シュコダ(494台)、⑥プジョー(471台)となっている。

◆リューリン高速開通

▶15日、ソフィア市と西部ペルニク市を結ぶリューリン高速が全線(19キロ)開通した。リューリン高速はブルガリア政府が推進する7つの高速道路建設計画の一つで、全線開通した初めての高速道路である。

◆ナブッコ・パイプライン着工延期

▶6日、ロシア以外からの天然ガス供給ルートとして注目されているナブッコ天然ガスパイプライン計画について、Nabucco Gas Pipeline International GmbHは、当初2011年着工、2015年完成を目指していた計画が2年遅れ、2013年着工、2017年完成となる見込みであることを発表した。総工費についても当初の79億ユーロから150億ユーロに見直しを変更した。

◆農地保護法改正案可決

▶11日、国民議会で審議されていた農地保護法改正案が可決・成立した。これにより、カテゴリー1から10まで区分された農地のうち、太陽光発電施設が建設できるのはカテゴリー6~10までで、かつ灌漑設備が整備されていない農地であることが条件となる。

3. その他

◆経済・エネルギー・観光省次官更迭

▶18日、マリイ・コセフ経済・エネルギー・観光省次官が更迭され、新たにデリヤン・ドブレフ氏が新たに就任することが発表された。ドブレフ氏は与党GERB所属議員で、経済政策委員会の副委員長を務めていた。

◆運輸・通信技術・通信相の選出

▶19日、ブルガリア国民議会は「個人的理由」により運輸・情報技術・通信相を辞任したアレクサンドル・ツベトコフ氏の後任に、これまで同省

次官を務めてきたモスコフスキ氏を選出した（賛成：105，反対：42，棄権：4）。

=====

我が国との関係

◆ 草の根・人間の安全保障無償資金協力

26日、ソフィア市内のエルヒツァ幼稚園で、日本政府が供与した35,237ユーロを原資に実施された施設改修プロジェクト（障害園児のための運動室及び屋内小型プール改修）の供与式が実施された。

◆ 平成21年度一般文化無償資金協力

12日、ブルガリア国立美術ギャラリーにて、日本政府により供与された修復室機材及び視聴覚機材（4560万円）の引き渡し式が実施された。

=====

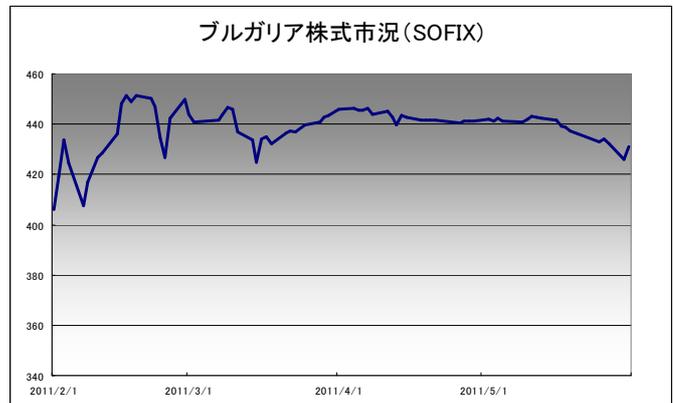
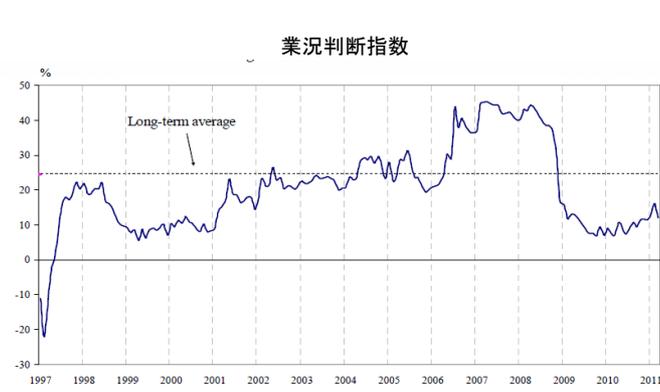
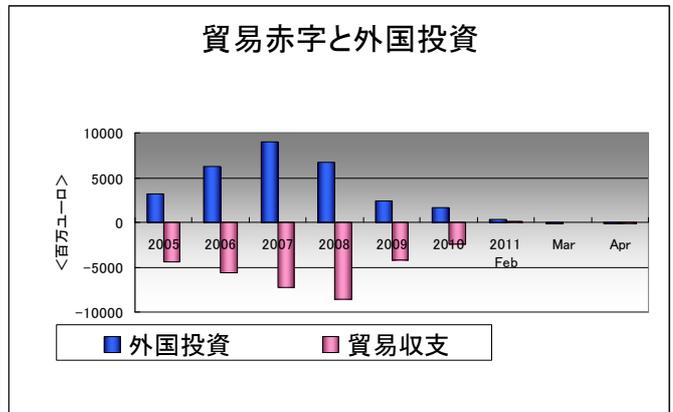
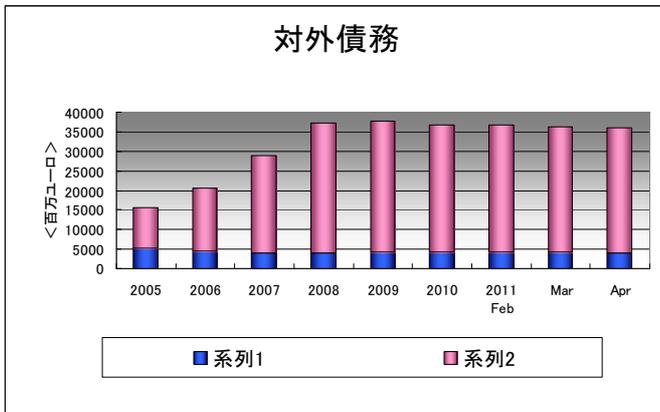
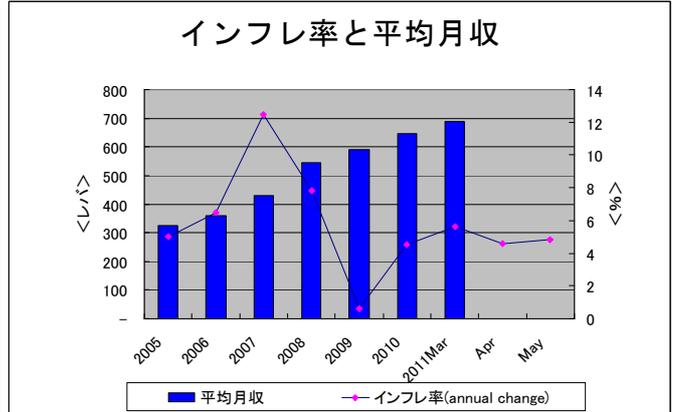
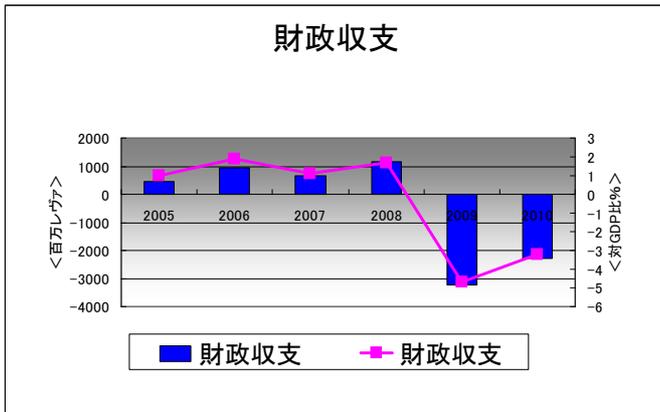
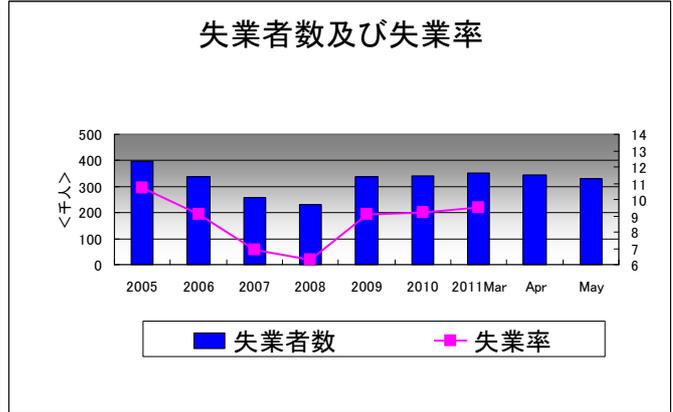
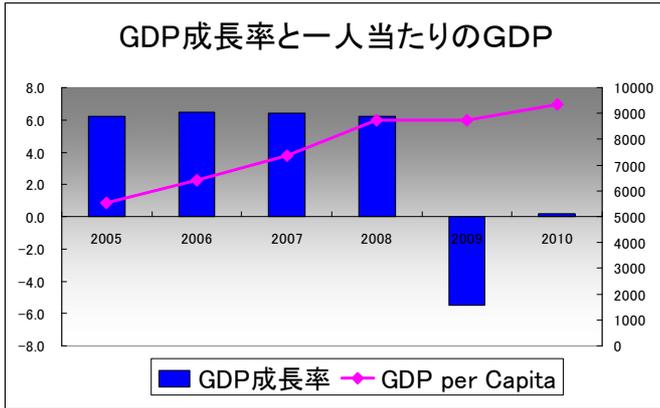
ブルガリア内政・外交の動き（5月）

在ブルガリア大使館

1（日）	☆ツァチェヴァ国民議会議長：バチカン訪問
2（月）	
3（火）	
4（水）	☆潘基文国連事務総長：ブルガリア訪問（～5日）
5（木）	☆Sofia Platform Bridging Europe and the Middle East 会合開催（於：ソフィア。～7日）
6（金）	
7（土）	
8（日）	
9（月）	
10（火）	
11（水）	
12（木）	☆アベーラ・マルタ大統領：ブルガリア訪問（～14日）
13（金）	
14（土）	
15（日）	
16（月）	☆ウェインライトEUROPOL長官：ブルガリア訪問
17（火）	
18（水）	●ツヴェトコフ運輸大臣辞任
19（木）	☆ボリスフ首相：ポーランド訪問（～20日）
20（金）	●アタッカ：シデロフ党首等がソフィア中心街のモスクで信者と衝突 ☆ツァチェヴァ国民議会議長：第13回地域パートナー国国会議長会合出席（於：スロバキア）
21（土）	
22（日）	
23（月）	☆ツァチェヴァ国民議会議長：バチカン訪問（～24日）
24（火）	
25（水）	☆ボリスフ首相・ムラデノフ外相：第7回ブルガリア・メディア世界大会出席（於：ハーグ） ●国民議会：アタッカ所属議員3名が離党し、無所属議員に
26（木）	
27（金）	☆パルヴァノフ大統領：第17回中東欧大統領会合出席（～28日） ☆NATO国会議員会議（於ヴァルナ～30日） ●国民議会：ブルガリアの少数民族・宗教の平和を損なう試みに対する非難決議を採択
28（土）	
29（日）	
30（月）	
31（火）	

ブルガリア経済指標 (2011年5月)

出所：統計局、中銀、ソフィア証券取引所



ブルガリア主要経済指標

<GDP成長率と一人当たりのGDP>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010
GDP成長率 (%)	6.2	6.5	6.4	6.2	-5.5	0.2
GDP per Capita (BGN)	5529	6411	7379	8753	8735	9362

<財政収支>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010
歳入 (million BGN)	464.5	960.5	682.9	1148.8	-3210.7	-2269.2
財政収支 (% of GDP)	1	1.9	1.1	1.7	-4.7	-3.2

<失業者数及び失業率>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011Mar	Apr	May
失業者数 (千人)	397	338	256	232	338	342	352	344	329
失業率 (%)	10.7	9.1	6.9	6.3	9.1	9.2	9.5	9.5	

<インフレ率と平均月収>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011Mar	Apr	May
インフレ率 (%)	5	6.5	12.5	7.8	0.6	4.5	5.6	4.6	4.8
平均月収 (BGN)	324	360	431	545	591	647	689		

<対外債務>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Feb	Mar	Apr
政府対外債務 (million EURO)	5197.6	4547.3	4092.3	3908.7	4172.5	4287.5	4171.8	4152.0	4124.1
民間対外債務 (million EURO)	10309.3	16143.6	24924.5	33203.7	33635.6	32392	32603.4	32128.0	31890.7

<貿易赤字と外国投資>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Feb	Mar	Apr
外国投資 (million EURO)	3152	6222	9052	6728	2412	1639	314.9	-59.7	-62.5
貿易収支 (million EURO)	-4410	-5562	-7245	-8597	-4174	-2413	79.5	52.5	-124.6
輸出 (million EURO)	9,466	12,012	13,512	15,204	11,787	15,588	3,080	4,777	6,378.2
輸入 (million EURO)	13,876	17,574	20,757	23,801	15,889	18,000	3,000	4,724	6,502.8